



西有家小学校だより 6号
 校訓 (勤労・勉学・大志)
 学校教育目標 明るく心の美しい子ども

令和6年7月19日
 南島原市立西有家小学校
 TEL 73-6741
 (文責 校長 大古場)



夏休みの充実に向けて



明日から、子どもたちが楽しみにしている夏休みに入ります。生活リズムが大きく崩れたり、水難事故や交通事故に遭ったりすることがないように健康・安全には十分気を付けて楽しく過ごしてほしいと思います。ご家庭においては、親子のふれあいをさらに深めていただき、子どもたちにとって充実感、満足感が残る夏休みになることを願っています。また、熱中症対策や感染症対策へのお声かけも継続してよろしくお祈りします。1学期間、学校への惜しみないご支援・ご協力、誠にありがとうございました。

「こだわりが夢を開く」

本日、全校の子どもたちに「通知表」を渡しました。「通知表」は子どもの学校での学習や生活の様子を保護者に伝え、学校と家庭が手を取って子どもの成長に役立てていくものです。よい面は大いに褒めて、「もう少し」という面があれば子ども自身の考えを聞いてあげて、よいコミュニケーションの機会としてください。



さて、もう10年ほど前のことになりますが、青色LEDを発明した3名の先生方のノーベル賞受賞が話題になっているさなかに、ある小学校1年生児童が数学検定2級に合格したことが注目されました。(※数学検定2級は高校2年生レベルに相当) 当時は大きな話題となりましたが、このことは何事であっても夢中になってこだわり続けているうちに、すばらしい成果をあげてしまうことの良い事例にもなりました。脳の中で使われていない神経細胞は1日数万個がなくなっていくと言われていて、ところが、繰り返し頻繁に使われている細胞は増えて、さらに多くなっていくことも分かっています。

青色LEDでノーベル賞を受賞された天野浩教授は、実験で毎日失敗していても、「また明日新しいアイデアで試してみよう」と自分を鼓舞しながら何度も何度も実験を続けたそうです。そして、そのこだわりが、実現困難と言われていた青色LEDの発明につながったのです。こだわりがついに夢を開いたのです。

脳のことを知らなかった大昔の人たちでさえ、好きなことを夢中になってやっていたら、自然と上手になることを知っていました。だからこそ、子どもたち自身が夢中になれることをもつことは本当に重要なこととなります。低学年のお子さんには、すぐに達成できる小さな目標をもたせ、高学年になるほど大きな夢を抱かせ、苦勞しながら実現する喜びをもたせていくというように、発達段階に合わせての目標づくりが大切です。

明日から約1ヶ月余りの夏休みに入りますが、この1ヶ月余りの夏休みでも目標を立ててこだわることは可能だと思います。何か夢中になれそうなことをぜひ目標にして「こだわりが夢開く」そんな一歩となる夏休みになればよいと思います。ご家族でもお子さんと夢について語り合ってみてください。そして、子どもにとって学期の節目が、自分を見つめる力を高めて今後の自分の可能性を広げていくためのよい機会となるよう、周りの大人も未来への夢や希望を語りかけていきましょう。



地区児童会 ～地区のつながり～

本校では、「地区児童会」を年に4回実施しています。7月17日には、夏休みのラジオ体操の実施方法や地区の行事などを確認するために実施しました。各地区とも高学年が司会者となり、話し合いを進めることができました。



それぞれの地区は、通常の登校日には6年生を中心にして、徒歩で集団登校をしたり、スクールバスに乗り合わせたりしながら毎日安全に気を付けて登校しています。高学年が下級生のお世話をしている姿は何ともほほえましいものです。これからも近くに住んでいる上級生、同級生、下級生という親しみや愛着心をもって仲よく過ごしてほしいと願っています。

※(裏面に続きます)

ソーシャルスキル 育っていますか？



「発達段階に応じた指導を…」これは、よく耳にする言葉です。小学校1年生であれば、小学校にあと5年間、中学校3年間の義務教育を受けます。例えばその後、高校卒業後に親元を離れるとしたら、11年間で社会に出て行くこととなります。生活スキルを含め、その時に必要となるスキルがソーシャルスキルです。それらを身に付け、その後の長い社会での生活で生き抜いていくわけです。そう考えると、親元で学ぶこの期間というのはとても重要な時期だと思えてなりません。お子さんの学力面に目が奪われがちになりそうですが、生活していくために必要なスキルは身に付いているのでしょうか。以下に例を挙げてみます。

- ・自分に関する数字等がわかる。(住所・郵便番号・電話番号・身長・体重・服や靴のサイズ)
- ・家族のことを知っている。親類の関係性を知っている。(いとこ・おじ・おば)
- ・服は自分で選べる。・暑い、寒いを考慮して衣服やその他の調節ができる。
- ・具合が悪くなったらどうすればいいか、ある程度分かる。・簡単な料理ができる。(卵焼き等)
- ・自分の体調の悪さに気付くことができる。・自分の部屋を掃除できる。・お金の管理ができる。
- ・自由な時間をコントロールできる。・自分の長所、短所を知っている。等々…

今の年齢によってできることは様々でしょうが、そういったスキルを身に付けていくことに興味を向けていくことも大切だと思います。何でもやってあげてしまうと、必要性に気付かず成長して大きくなってしまいます。低学年向けの便利グッズを高学年になっても使っていると、「中学生になってもできない！」ということが増えてしまいます。(シューズのひもや三角巾を結ぶ、エプロンをかけるなど)しかし、「自立」とは一人で何でもできることではありません。できないことは、人に頭を下げて聞いたり、お願いしたりすることでカバーできることもあります。その時に必要なコミュニケーション力もさらに重要です。そして、人に感謝する気持ちをもたせることも忘れてはならないところです。学校でも、そのようなスキルについて学ぶために、お子さんに必要なものは何かを考えながら、発達段階に応じた指導、支援をしてきています。親元で生活する時間が多い夏休みは、生活していくためのスキルを増やすチャンスでもあります。ソーシャルスキルをさらに身に付けさせ、子どもたちの生活力や社会を生き抜く力を一層高めていきたいものです。

田植え ～JA西有家青年部のご協力のもとで～

7月1日(月)、5年生が「総合的な学習の時間」に学校近くの借用田で「田植え」を行いました。これは、毎年「JA西有家青年部(R6:小川秀祐 部長)」のご協力を得て実施しているものです。田植えを行ったのは初めてという子どもが多くいましたが、無事に植えることができよ体験となりました。10月には、稲刈り・脱穀まで行い、収穫したお米は2学期末におにぎりを作って、みんなで楽しく食べる予定です。それまでみんなでお米の成長を見守りながら、お米のことについて学んでいきます。



<西小っ子の活躍!> 表彰おめでとう! ※敬称略

☆「ソフトボール」<第15回島原半島親善大会 ひまわりてれび旗> 第3位 西有家SC

☆「空手」<令和6年度南島原市防犯少年武道大会>

- ・小学1,2年形個人の部 優勝 近藤 希龍 3位 近藤 滯莉 ・組手個人の部 3位 近藤 希龍
- ・小学3,4年形個人の部 2位 西村 悠和 3位 西村 直和
- ・小学3,4年組手個人の部 優勝 森下 悠斗 2位 西村 悠和 3位 近藤 涼叶
- ・小学5,6年形女子の部 優勝 中村 杏々果
- ・小学5,6年組手女子の部 優勝 中村 杏々果 ・小学5,6年組手男子の部 2位 高橋 健慎
- ・小学女子組手団体戦 2位 重礼館 (本多 希世、近藤 珠愛、中村 杏々果)
- ・小学男子組手団体戦 2位 重礼館A (高橋 健慎、西村 悠和、近藤 希龍)
- ・小学男子組手団体戦 3位 重礼館B (西村 直和、近藤 滯莉)



夏休み・2学期の行事予定

7月31日(水) 消防スケッチ大会 9:00～	9月5～6日 夏休み作品展
8月9日(金) 登校日、平和集会	9月6日(金) 全校授業参観、学級部会
8月21日(水) 登校日	10月9日～10日 6年修学旅行(福岡方面)
8月24日(土) PTA環境整備作業	10月25日(金) 秋の遠足
〃 おやじの会砂上げ作業	11月7～8日 5年集団宿泊活動
9月2日(月)	11月15日(金) 学習発表会
第2学期始業式、給食開始	11月29日(金) 校内持久走大会
9月3, 4, 5日 全学年5校時	12月24日(火) 第2学期終業式(給食有)

